



じぶんの町を良くするしくみ

共同募金へのご協力

ありがとうございました

ご協力ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

平成22年度の赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、昨年10月から12月まで実施されました。運動期間中は、県民の皆様、関係団体、自治会・町内会をはじめ、大変多くのボランティアの方々にご尽力いただきましたことを心から感謝申し上げます。皆様からお寄せいただいた募金の最終実績については、現在、集計作業を行っています。

いただいた募金は、市町村の社会福祉協議会が行う福祉サービス、高齢者・障害者・子どもたちのための民間福祉施設の整備、県下一円で活動している民間福祉団体の活動、県内の福祉に関する様々な分野で活動しているボランティアグループ、周辺地域の安心・安全なまちづくり活動を行う自治会、災害被災者への見舞金等へ、平成23年4月以降に配分されることになっています。

歳末たすけあい運動

共同募金の一環として、「みんなでささえあう あったかい地域づくり」をスローガンに「歳末たすけあい運動」が12月1日から31日まで実施されました。

地域で集められた「地域歳末たすけあい募金」は、全額がその地域の市町村社会福祉協議会に配分されました。それぞれの地域で、支援を必要とする方々が少しでも安心して新しい年を迎えられるよう、見舞い金品の贈呈や、地域での餅つき・しめ縄作りなどの事業に使われました。また、見守り訪問や高齢者とのふれあい事業など地域住民が中心となって参加できる福祉活動のためにも使われます。

12月1日から25日までの間、NHKと共同募金会が中心となって募集した「NHK歳末たすけあい義援金」については、共同募金会を通して県内の支援を必要としている方々や福祉施設などに贈られました。

12月15日にNHK鹿児島放送

局で、NHK歳末たすけあい義援金の贈呈式が行われ、渡部孝道、NHK鹿児島放送局長、溝口宏二、鹿児島県共同募金会会長から児童福祉施設やグループホーム、社会福祉協議会の代表にそれぞれ目録が贈呈されました。

児童福祉施設の子どもたちやグループホームの入居者には、遊具やスポーツ用品、電化製品などが、在宅で支援を必要とする方々には各市町村の社会福祉協議会を通じて福祉用具等が贈られました。



「奄美地方大雨災害義援金」へのご協力 ありがとうございました。

全国各地の皆様から、たくさんの温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。また、イベント会場や店頭、職場などで募金の労をとってくださいました方々にも併せて感謝申し上げます。鹿児島県、日赤鹿児島県支部、県共同募金会へ寄せられた義援金は、鹿児島県が設置する「配分委員会」で配分が決定され被災者の皆様へ届けられました。

皆様からの温かいご支援に励まされ、奄美地方では現在、復興に向けて頑張っておられます。皆様からいただいた多くのご支援、ご協力に心からお礼を申し上げます。